

授業科目	* 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	梶原 浩介						
授業概要	<p>地域福祉は、児童福祉や高齢者福祉等の対象者別の福祉分野に並置されるものではなく、社会福祉そのものの新しい形態や方法を意味している。本科目を通して、新しい福祉のあり方として地域福祉を捉える視点を学ぶ。前期では、地域福祉の基礎概念や、民生委員、社会福祉協議会、共同募金等の地域福祉を推進する主体、仕組み、地域福祉を推進する援助技術(コミュニティワーク)などについて学んでいる。後期では、前期の学びを踏まえ、地域を基盤としたソーシャルワークを中心に学ぶ。特に、社会福祉協議会等の基本的な実践技術であるコミュニティワークに加え、近年、社会的つながりの弱い人々や制度の狭間、複合課題などへの対応として重視されるようになったコミュニティソーシャルワーク(地域を基盤としたソーシャルワーク)、総合相談の仕組み、包括的な支援体制等についても学びを深める。</p>						

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 地域福祉の基本的な考え方、地域福祉の主体と対象を理解する。
	2. 地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。
	3. 住民参加の意義と方法について理解する。
	4. ネットワーキングの意義と方法及びその実際、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法と実際について理解する。
	5. 福祉サービスの評価方法について理解する。
	6. コミュニティワークの意義や方法等について理解する。
	7. コミュニティソーシャルワークについての知識や技術等について理解する。
	8. 地域福祉の課題とこれからの地域福祉のあり方について理解する。
理想的レベル	1. 地域福祉の諸課題を認識でき説明することができる。
	2. ネットワーキングをする際に必要となる機関、団体、人について説明することができる。
	3. 地域福祉の諸課題について多角的に捉えることができ問題点を指摘することができる。
	4. 地域福祉に関する学説、理論、政策などについての説明ができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト	0	
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	課題に対する話し合いも含む
レポート外の提出物	0	
その他	10%	授業中の発言・質問、参加姿勢等

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21212J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）		1回の目安時間（時間）
授業内外で学んだことなどについて、ノートにまとめ、関連する領域の文献を読み、授業内容の理解を深める。また、学習内容との関連に注目して、自分たちの生活の中にあら地域福祉について理解を深める。		4
授業計画		
第1回	オリエンテーション-地域福祉とは- <ul style="list-style-type: none"> 授業の概要、到達目標、各回の進行内容や進め方等について説明します。 これまでの地域福祉の動向等について振り返り、授業の全体像を概観します。 	
第2回	コミュニティソーシャルワークとは-事例を中心に- <ul style="list-style-type: none"> 地域住民が生活する地域に存在する、地域生活課題の現状について解説します。 コミュニティソーシャルワークに関する理解を深めるために、導入として制度の狭間の問題に対する実践事例を用いて解説します。 	
第3回	コミュニティソーシャルワークとは-理論と実践事例- <ul style="list-style-type: none"> コミュニティソーシャルワークの理論における歴史的な背景について解説します。 コミュニティソーシャルワークに関連する実践事例を用いて解説します。 	
第4回	コミュニティソーシャルワークの展開プロセス① <ul style="list-style-type: none"> コミュニティソーシャルワークの特徴、視点等について解説します。 コミュニティソーシャルワーク実践を構成する展開プロセスについての全体像等について解説します。 	
第5回	コミュニティソーシャルワークの展開プロセス② <ul style="list-style-type: none"> コミュニティソーシャルワークの展開プロセスを構成する要素について具体的に解説します。 	
第6回	コミュニティソーシャルワークの展開プロセス③ <ul style="list-style-type: none"> 制度の狭間の問題に対する支援の実際について、映像教材等を用いて解説します。 	
第7回	コミュニティソーシャルワークの展開プロセス④ <ul style="list-style-type: none"> 制度の狭間の問題に対するコミュニティソーシャルワークのさまざまな実践例を用いてまとめます。 	
第8回	地域共生社会の推進に向けた包括的支援体制① <ul style="list-style-type: none"> コミュニティソーシャルワーク実践を活かす視点・方法等について解説します。 コミュニティソーシャルワークを生かした実践概念としての総合相談等について解説します。 	
第9回	地域共生社会の推進に向けた包括的支援体制② <ul style="list-style-type: none"> コミュニティソーシャルワーク実践を用いた総合相談の実際等について解説します。 	
第10回	介護保険制度と地域福祉-生活支援体制整備事業を中心には- <ul style="list-style-type: none"> 介護保険の現状等について振り返ります。 住民主体をつくる生活支援体制整備事業の機能・役割等について解説します。 	
第11回	生活困窮者自立支援における新たなソーシャルワークの展開 <ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立支援制度の位置づけ、目的等を把握し、映像教材を用いて解説します。 	
第12回	地域共生社会の実現と地域福祉① <ul style="list-style-type: none"> 我が事・丸ごとの地域づくりと法的な位置づけ、目的等について解説します。 	
第13回	地域共生社会の実現と地域福祉② <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画の法的な位置づけ、目的、各自治体の取り組みなどを例に解説します。 	

第14回	災害時における総合的かつ包括的な支援体制 ・災害の位置づけ、法による支援体制、自然災害が起きた場合の仕組みなどについて解説します。
第15回	これからの社会福祉士の役割と地域福祉 ・これからのソーシャルワーカーに求められる役割と地域福祉のあり方等について解説します。 ・後期の授業の総合的なまとめを行います。
テキスト	・川村 匠由 編著『入門地域福祉と包括的支援体制』ミネルヴァ書房出版 ・適宜、レジュメ資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・参考文献、資料などは講義の際に適宜、情報提供する。
課題に対するフィードバックの方法	・対面授業のテーマに基づき、グループワークなどを行い、授業資料等で振り返る。また、ICTを使用して、回答例の提示や自主学習のための資料等を配信する。
学生へのメッセージ・コメント	・より理解を深めていくために、事前にテキストの一読やレジュメ資料による振り返り、授業中に紹介する参考図書等を一読してください。 ・地域福祉領域(地域の問題、行政計画等)の情報に興味関心をもってアクセスし、理解を深めてください。

